

平成 30 年度 第 2 回 仙台市情報モラル教育推進会議 開催

(平成 30 年 11 月 5 日 (月曜) 実施)

平成 30 年度情報モラル教育に係る本市の取組

第 1 回情報モラル教育推進会議 (平成 30 年 5 月 14 日実施) での提言を踏まえ、以下の取組を進めています。

1 家庭における推進検討部会 (家庭部会)

・家庭でも学校でも、楽しみながら活用できるリーフレットの作成及び配付

2 学校における推進検討部会 (学校部会)

・児童生徒の主体的な啓発活動の検討と実施

・短時間扱いの指導事例の開発と実践及び 1 単位時間の授業事例の拡充

第 2 回情報モラル教育推進会議では、事業の進捗状況を確認するとともに、家庭部会が作成したリーフレットの内容と配付後の活用に関する検討を行いました。また、学校部会が進めている児童生徒の主体的な啓発活動や、1 単位時間の授業及び短時間扱いの指導事例について意見交換を行い、今後の取組の方向性について確認しました。

1 家庭部会の取組

【事務局報告】

- 今回のリーフレットは、“すごろく”を取り入れ、子供たちが家庭でも学校でも遊んで楽しみながら、情報モラルについて保護者や友達と考えられるよう工夫した。
- リーフレットは 11 月 11 日 (日曜) 開催の PTA フェスティバルの来場者に配付し、冬休み前に市内の小・中学校の児童生徒に配付する。

【各委員からの提言】

- 配付後に家庭や学校で実際に活用されることが大事。有効活用のために、保護者や学校向けの添書とともに、具体的な活用例を添えるなどし、リーフレットの活用を呼び掛けてはいかか。
- 学校においては、朝の会や帰りの会等、短時間での指導場面で活用することも考えられる。

2 学校部会の取組

【事務局報告】

- 児童生徒による主体的な啓発活動を、「小中連携」「保護者・地域との連携」「学校からの情報発信」の三つに分けて整理し、活動のねらいや適時性を考慮して年間計画を作成した。
- 授業研究については、短時間で扱える指導事例を開発し、実践した。また、小・中学校で 1 事例ずつ、1 単位時間の授業を実施した。

【各委員からの提言】

- 啓発活動における小中連携の取組については、中学生から小学生へと、子供同士で教え合うことで、情報モラルへの意識が高まることが考えられ、効果的である。ぜひ計画を実践し、有効事例として紹介していただきたい。
- これからの社会を生きていく上では、情報との付き合い方が重要となる。学校では、インターネットやスマートフォンの安全な使い方に留まることなく、情報を扱うことの良さや目的についても取り上げ、学習を通して子供たちに意識させていただきたい。

今後の予定

家庭部会

- リーフレット配付後の小・中学校での活用における成果や課題について、検証を行います。

学校部会

- 実践した啓発活動や授業の具体について取りまとめ、情報モラル教育実践ガイドへの掲載に向けた編集を行います。